選ばれる私学 “本物の先進教育”［首都圏共学実力校編］

進路実現・探究・グローバル

安田学園中学校・高等学校

学び力・進学力伸長システムで国公立大と難関私大合格を実現

ニューヨーク研修の国連本部訪問。修学旅行、海外留学、語学研修など、異なる文化や価値観に触れる機会が豊富

稲村 隆雄
校長

きめ細かな指導で人間力と確かな学力を身につける

「自学創造」。安田学園の教育理念は、自ら考え学び、創造的学力と人間力を身につけ、21世紀のグローバル社会に貢献する人材を育てることです。

「創立は大正12年。安田財閥の総帥として金融・経済の礎を築き、日本の近代化に尽力した安田善次郎の衣鉢を継ぐ学び舎です。校訓に誠実・明朗・奉仕を掲げ、実学をもって実業界の発展を担う、多くの有為な人物を輩出してきました」と、稲村隆雄校長は語ります。

根底にあるのは豊かな「人間力」の涵養でしょう。週1回の道徳の時間は安田善次郎をモデルとした『生き方の探究』を副読本に自らを省察。そこで育まれる自己肯定感と自律、他者との共生、利他の精神は、学校生活を照らす道標となります。

「本校は生徒一人ひとりの発達段階に応じたきめ細かな教育に定評があります。6年間を2学年ずつ3ステージ制とし、Ⅰで学習習慣の定着、Ⅱは学習課題の分析と検証。Ⅲでは探究的学びを深め、国際社会や将来への視座を獲得します」（稲村）。

それを勉学面で具現化したのが「学び力伸長システム（1～5年2学期）」と「進学力伸長システム（5年3学期～卒業）」です。前者は基礎学力定着のため週4回の英数チェックテスト、年5回の定期テスト、年2回の到達度テスト、中学集大成テストを設定。定期テスト前には学習計画を立案・実行する「独習ウイーク」を、テスト後は結果を踏まえ長期休暇の学習課題を考える「独習デー」を設け、生徒を支援するのだそう。

全生徒が自律のために学習計画を書き込む「スコラ手帳」

教頭の土屋道明教諭は「チェックテストの基準点が満たない生徒には担当教員による放課後補習、自習室には卒業生チューターが詰め、生徒の質問に答えます。長期休暇は学力に応じた講習がずらり」と解説。生徒全員が「スコラ手帳」を持ち、学習計画や勉強法の相談などを書き、担任と共有します。

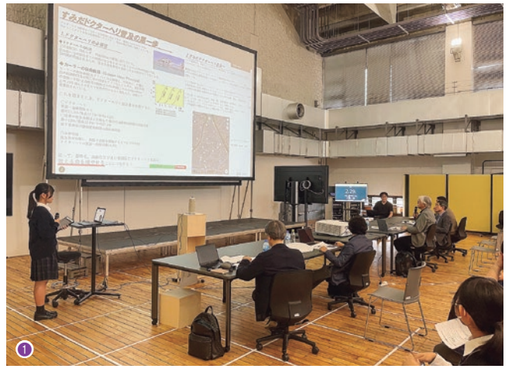
一方、進学力伸長システムは進路実現に向け、難関大学入試対策に特化。授業に加え放課後進学講座、共通テスト模試演習、進学合宿、夏期・冬期講習、入試直前ゼミなど盛りだくさん。

「学校完結型をモットーに、すべて本校教員が講座を担当。ステージ毎に統括主幹以下、ステージ主任、学年主任、担任、教科担当が生徒の情報を共有しているので、個々の実力に応じた指導が可能です」（土屋）

受講に特別な費用は不要で、自習室は20時までオープン。原則、塾へ通う必要がなく保護者にも好評だといいます。

“取りこぼし”を防ぐため、英数は基準点に満たない生徒は放課後補習でケア

進路実現・探究・グローバル



❶探究課題のドクターヘリを選んだ生徒の渾身のルポ❷中2～高2の希望者で第二外国語講座を実施。中、韓、仏の言語の講座を用意❸運動会は代々木第一体育館。チアリーダーは全国レベルの実力派。ちなみに中学男子バレーは全国優勝をしており文武両道を実践❹ハチの研究で国際大会の常連となっている生物クラブ❺安田善次郎をロールモデルとした副読本「生き方の探究」

「その成果が実を結び、進学実績が着実に伸びています。城東エリアでは都立両国高校と比肩し、国公立大学合格が2025年は67名といずれ3桁を狙う位置に。早慶上智レベルは125名、GMARCHレベルは342名。医療・工学系も増え、〝リケジョ〟も活躍中」（稲村）

土屋 道明
教頭・広報部長

探究プログラムでイノベーションを起こす

安田学園の人気の秘訣は、きめ細かな教育に加え、論理的思考力を鍛える探究プログラムの充実にもあります。様々な教科で「観察➡疑問➡仮説➡検証➡考察」の探究サイクルを取り入れています。フィールドワーク主体の授業で、生徒の知的好奇心と創造力、表現力を活性化しています。

「1年生の『一番飛ぶ飛行機選手権』は、試行錯誤の中で自然科学の楽しさと出会えます。2年生は新潟県十日町を訪ね、『トキの生態』研究。佐渡に営巣するトキがなぜ十日町に定住しないのか、天敵やエサを観察しながら検証します」（土屋）

4・5年生は個人の問題意識を発展させ、ゼミ形式で専門性を深め論文にまとめます。

「当地墨田区は千葉大学と教育地域連携を行っており、ゼミで『ドクターヘリ』を課題とする生徒は、教授からアドバイスを得られました」（稲村）

安田学園の科学的思考力は部活でも遺憾なく発揮され、生物部は屋上で飼育するミツバチの生態を研究。国際学生科学技術フェア（ISEF）に日本代表として連続招待を受けています。

グローバル時代の未来を切り拓く

国際舞台で活躍する人材の育成には、感性の瑞々しい10代に、異文化や異なる価値観に触れることが肝心。海外留学・修学旅行は中学3年生を対象とする夏期ニュージーランド短期留学と、5年生のオーストラリア修学旅行があり、他にもニュージーランド語学研修、ニューヨーク研修、日韓交流プログラムなど多彩です。

「グローバル教育の基本となる英語は、4技能5領域をしっかり網羅。AIによる記憶定着システムを活用しており、中3で英検準2級以上85%を実現。高3で準1級を目指します。第2外国語として中国語、仏語、韓国語を用意」（土屋）

スピーチコンテストや英単語コンテストも年々活況。ICTのオンライン英会話や留学疑似体験で、アウトプットに自信をもつ生徒も多いといいます。

「学力を土台に、探究プログラムや海外研修など多様な経験を積むことで、生徒たちは自らの将来を具体的に描けるようになります。本校では学年ごとにキャリアデザインのテーマを示し、進路・進学先、資格、企業・職業などをフォーカス。各界で活躍するOB・OGの講話も励みになりますね」（稲村）

明日に向けて、安田学園は確かな歩みを進めている。

PICK-UP

安田系の学校法人の支援で職業教育を

安田学園教育会役員には、安田財閥の系譜をひく芙蓉グループ数十社が名を連ねます。みずほファイナンシャルグループ、沖電気、岡谷電機産業、ヒューリック、帝国繊維、明治安田生命保険相互会社、損害保険ジャパン、安田不動産、東京建物などジャンルも多彩です。

学園ではこのつながりを生かし、キャリア教育の支援を乞う企画が進行中。日本経済を最前線でけん引するビジネスパーソンのリアルな経験談は、中学・高校生にとってワクワクと胸が躍るドラマでしょう。各社、女性管理職の登用も進み、女子生徒にとっては良きロールモデルとなるはず。新しい試みに、保護者からも期待が寄せられています。

SCHOOL DATA
安田学園中学校・高等学校　https://www.yasuda.ed.jp/
〒130-8615　東京都墨田区横網2-2-25　TEL.03-3624-2666